

つかめ花園切符

高校ラグビー 9校激突

県予選

あす、熱戦の火ぶた

第94回全国高校ラグビー大会県予選が6日、秋田市八橋のあきぎんスタジアムで開幕する。昨年と同じ9校が出場し、全国大会(12月27～1月7日・東大阪市の近鉄花園ラグビー場ほか)の出場権を懸け、しのぎを削る。

優勝争いは6月の全県総体を3年ぶりに制した秋田中央がリードし、準優勝の秋田工が追い掛ける展開。金足農、男鹿工がどこまで迫ることができるか。

秋田中央は、BKにスピードのある選手がそろい、FWはセットプレーが安定しており、接点も強い。どこからでも相手を崩せる攻撃的なラグビーを得意とする。6月の東北高校選手権1部は準優勝だったが、決勝では仙台育英(宮城1位)と29-31の好勝負を演じた。

1月の花園で8強入りした秋田工は、新チームでもFW、BKがつなく高速ラグビーを目指す。グラウン

秋田市あきぎんスタジアム

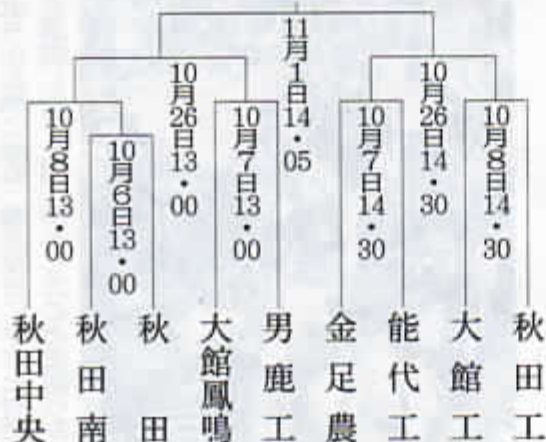
Dを広く使ってボールを外に振り、決定力のあるWTBとFBで勝負する。全県総体決勝で敗れた秋田中央に雪辱し、3年連続の花園出場を狙う。

アタックを重視する金足農と男鹿工は、ともに個々の能力は高いだけにチームとして機能すれば、2強を

脅かす存在になる。

開会式は6日午後0時半から。昨年の優勝校、秋田工の奈良望主将(3年)が選手宣誓する。同日に1回戦1試合、7、8日にそれぞれ2回戦2試合、26日に準決勝、11月1日に決勝を行う。

(佐藤亮真)



※メンバー表は左から氏名、学年、出身中学校、身長、体重。◎は主将

大館鳳鳴

部長 雁山岳大 監督 石木田毅志

春から大きなけがもなく、順調にチームとして力を付けてきた。高橋主将のけん引力でチームもまとまってきている。全ての局面でチャレンジし続け、チャンス等待つてはなく自らつくり出すようなプレーを心掛けた。仲間を信じ、己を信じ、練習の成果を花園予選で出し切ったほしい。激しく、粘り強く「魂のタックル」を決め、前進し続ける。
(石木田毅志監督)

積極プレーで好機を



川村時名	176	88
目鼻安	173	79
桑部	180	100
大和	176	71
大和	183	86
大和	173	65
大和	172	85
大和	175	70
大和	184	80
大和	173	70
大和	176	90
大和	169	60
大和	176	70
大和	175	73
大和	169	61
大和	173	88

大館工

部長 虻川史文 監督 明石渉

今年は3年生が10人と近年になくメンバーがそろい、4強に入ることを見込んできた。接点で勝負することをテーマにし、ウエイトトレーニングに時間を割き体づくりを重視。週末には秋田市に何度も足を運び強化を図ってきた。秋が深まるにつれ、その成果が形となりチーム力が一気に向上した。初戦の相手は格上の秋田工だが、60分間「あらがね魂」を発揮し続け一矢報いたい。
(明石渉監督)

接点強化し戦力向上



藤村	175	86
伊上	165	75
高橋	177	92
花田	168	74
高橋	181	95
高橋	180	82
高橋	161	60
高橋	171	93
高橋	169	60
高橋	174	73
高橋	164	59
高橋	175	76
高橋	178	68
高橋	179	73
高橋	173	71
高橋	166	81
高橋	164	61
高橋	175	65
高橋	161	58
高橋	175	65
高橋	175	78
高橋	171	59

能代工

部長 佐々木弘樹 監督 澤木賢一

今年は、齊藤主将が高校東日本代表に選ばれたなど、個の能力が高い選手がいるものの、チームとしては公式戦でなかなか勝てず、苦い経験を味わってきた。経験不足と体力面の不安を解消すべく、夏合宿で試合を重ね、走り込みも継続してきた。三浦副主将やBKリーダの岸山が力を発揮し、3年生全員がまとまって積極的にプレーできれば、チャンスはある。
(澤木賢一監督)

個に力、まとまりが鍵



門泉	178	103
小齊	175	90
成田	177	120
成田	179	69
成田	178	72
成田	165	65
成田	170	76
成田	176	85
成田	166	63
成田	177	60
成田	180	75
成田	166	65
成田	171	65
成田	172	57
成田	175	67
成田	163	98
成田	177	72
成田	175	83
成田	172	64
成田	170	65
成田	165	73
成田	162	57
成田	170	65
成田	169	60
成田	170	60

男鹿工

部長 半澤一哉 監督 近藤周平

潜在能力の高い選手がそろった好チーム。基礎スキルと、選手間の意思統一が足りず、春は結果を出せなかった。地道なトレーニングと、基本プレーの反復により、夏を経て、本来持っている潜在能力を発揮し始め、急激に力を付けてきた。後は、自分を信じて「克己」できるかが、男鹿工復活の鍵を握る。吉田主将をはじめとする3年生の大きな一歩目に期待したい。

(近藤周平監督)

基礎固め、戦力に磨き



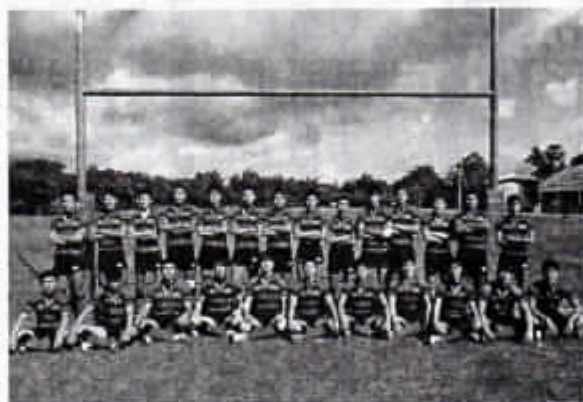
165	84
165	81
177	111
180	68
173	79
171	68
184	79
172	78
166	53
165	63
180	65
176	77
172	70
177	72
178	78
175	107
173	96
179	64
174	70
171	77
177	69
171	60
164	90
166	67
180	63

金足農

部長 関谷洋之 監督 柴田久寛

本年度のチームは、春の中央支部大会までは思うような結果を残せなかったが、全県総体では藤原主将を中心とした3年生がまとまり東北大会の切符を手にした。その勢いを保ちつつ東北大会2部では、春の全国選抜出場校に競り勝ち準優勝した。ミスをおそれず果敢に攻める形を目指し、前に出るディフェンスで一戦一戦全力で闘いたい。最後は3年生の闘「打倒秋田工」を目標に3年生の闘う姿勢に期待する。(柴田久寛監督)

攻守とも果敢に前へ



170	79
177	79
184	91
179	70
178	85
173	70
178	68
171	80
167	63
173	70
164	61
175	67
172	71
174	65
167	85
177	98
173	77
177	78
171	66
175	59
170	70
177	70
166	70

秋田工

部長 梁瀬章 監督 伊東真吾

本年度のチームスローガンは「己に克(か)って闘球を極める」。声を出し、ひたむきにプレーすることを、春から目指してきた。ボールをキープし続け、15人一体となった超アップテンポのラグビーを展開する。3年生を中心として、一つ一つのプレーに魂を込めることができるようになってきた。ラグビーはボールを使った闘い。最後は3年生の気迫が勝負を決める。闘いに勝って創立110周年に花を添える。(伊東真吾監督)

テンポよく攻撃継続



176	96
169	80
179	111
186	71
185	90
181	85
174	72
180	82
167	62
172	74
172	63
178	82
178	82
166	62
185	72
168	87
174	70
179	93
187	93
174	74
170	66
169	75
170	64
176	74
175	68

秋田中央

部長 小野寺康 監督 古谷和義

春の全国高校選抜大会後、チームは「日本一」を目標に掲げ、フィジカル強化に重点を置いてトレーニングに励んできた。また、夏の菅平合宿や奈良遠征で全国のトップチームと対戦することで自分たちの強み、弱みを確認し、徐々に力を付けてきた。3年生は1人と少ないが、徳原主将を中心に結束は固い。自分たちの強みを最大限生かし、攻撃的なラグビーで日本一を目指す。

(古谷和義監督)

強豪と実戦重ね成長



西奥野	174	90
田東野	188	90
鹿角	185	111
大館	182	89
南	178	83
秋田	177	80
大館	170	74
鹿角	186	80
大館	175	68
鹿角	171	63
鹿角	172	70
鹿角	179	70
鹿角	170	75
鹿角	164	68
鹿角	171	70
鹿角	167	82
鹿角	171	77
鹿角	170	86
鹿角	181	86
鹿角	176	77
鹿角	167	65
鹿角	187	70
鹿角	174	74
鹿角	168	64
鹿角	176	69

秋田

部長 岩見進 監督 佐藤栄幸

創部90周年の今年のチームは、大会が初の公式戦単独出場となる。6人の3年生を中心に接点にこだわって取り組み、体を張ったしつこいディフェンスができるようになってきた。3年生を軸に、粘り強いディフェンスからチャンスをつくりトライに結び付けていきたい。初戦からひたむきに激しくプレーし、チーム一丸となって秋高ラグビーの歴史に残る戦いをしたい。

(佐藤栄幸監督)

粘り強い守備持ち味



長谷川	177	87
五十嵐	176	92
工藤	177	90
五十嵐	188	68
五十嵐	182	79
五十嵐	175	74
五十嵐	173	80
五十嵐	180	64
五十嵐	167	61
五十嵐	174	61
五十嵐	170	65
五十嵐	181	75
五十嵐	171	60
五十嵐	173	74
五十嵐	171	60
五十嵐	167	81
五十嵐	172	69
五十嵐	164	64
五十嵐	171	70
五十嵐	171	65
五十嵐	183	69
五十嵐	172	61
五十嵐	181	63
五十嵐	165	53

秋田南

部長 浅利宏 監督 淡路直明

今年は、3年生が3人と少なく、2年生中心のチームである。基礎・基本を重視したランニングラグビーで今大会に臨む。田松主将を中心にOBの胸を借りて練習に取り組んできた。チームの縦のラインを中心に、諦めずにひたむきな南高ラグビーを展開し、15人でトライを取りに行く。

(淡路直明監督)

「走るラグビー」展開



今野	170	65
千賀	170	80
伊藤	182	120
吉田	170	62
田村	180	100
下村	163	65
藤原	177	70
藤原	172	65
藤原	167	58
藤原	164	66
藤原	173	80
藤原	174	65
藤原	170	60
藤原	172	60
藤原	172	62